

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 コロニー 児童デイサービス とみぐすく

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|--|----|---------------|-----|---|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 3 | 2 | 2 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 7 | | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 4 | 3 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | 1 | | ・まだ納得いく程度の改善には至っていない。 ・昨年度の内容がわからない。 | 昨年より職員の配置変更等があり、保護者意見等が十分把握できていなかった部分があったかと思われま。現在は連絡、気づきノートにて連携を行っておりますが、連携についてはより密に行えるように努めて参ります。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 3 | 2 | | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | 1 | 1 | 今年度はリモート研修を実施(常勤、パート)しています。 | 次年度は基本マニュアルの研修を徹底して行い、更に個別に合わせた支援の質の向上を目指すように、職員研修を実施したいと考えています。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 2 | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | 2 | 1 | 子ども達に要望等を聞いて活動案を作成する等の工夫をしています。 | コロナ禍により活動プログラム、内容についても工夫が必要。色々な視点から活動を取り入れて行く事を検討して行きます。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 1 | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 5 | 2 | | コロナ禍で活動の内容に制限が出て支援、活動内容に単調化が出てきています。 | コロナ禍により活動プログラム、内容についても工夫が必要。色々な視点から活動を取り入れて行く事を検討して行きます。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 2 | | コロナ禍で急な下校時刻の修正等があり、必ず行うことは困難な時もある。事前の打ち合わせが難しい時は連携簿で行っています。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 1 | | 全員そろって振り返ることが難しいため、対応している職員で振り返りを行っています。重要なことについては、翌日にまたがって全職員へ連携、共有を行うよう工夫しています。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 1 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 6 | | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|---|----|---------------|-----|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | | できるだけ左記のように行うようにはしていますが、コロナ禍にあるため、工夫して対応しています。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 6 | 1 | | | 基本は情報共有していますが、一部(トラブル発生時の連絡等)は、整っていない部分があるので工夫、検討を実施していきます。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 4 | 2 | | 個別で緊急時の対応の仕方について体制を整えています。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | 1 | | 同一敷地内の発達支援の事業所を利用している児童に対しては情報の共有をしています。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 4 | 2 | 1 | 今年度は対象児童がいまませんでした。 | 次年度も対象児童はいませんが、地域にどのような障害福祉サービス事業所があるか地域資源についても職員一同学んでいき職員の質の向上にも努めます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 5 | 2 | | 今年度はリモート研修を実施(常勤、パート)しています。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 3 | 1 | 3 | コロナ禍により、十分に行えていません。 | 安全な支援環境が整い次第地域との関わりも以前と同じように実施してまいります。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 3 | 2 | 2 | コロナ以前に開催されていた時は参加し、情報共有や連携に努めていましたが現在は参加できていません。 | コロナ禍が収束次第、安全な環境の中で参加してまいります。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 1 | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 4 | 3 | | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 1 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 2 | 3 | 2 | ・コロナ禍なので難しい面がある。 ・コロナ禍で中止となっている。 | 安全な環境が整い次第再開したいと考えております。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 1 | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 7 | | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 1 | 3 | ・コロナ禍なので難しい面があります。 ・コロナ禍で中止となっています。 | 安全な環境が整い次第色々な活動等通して地域とのつながりも築いて行こうと考えております。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 3 | 4 | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------------------|----|--|----|---------------|-----|---------------|---|
| 非常 時 等 の 対 応 | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | 2 | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 1 | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 3 | 3 | 1 | 対象児童がいませんでした。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | 1 | 1 | 対象児童がいませんでした。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | 1 | | 事例集はあるがどこにあるか把握していない職員がいるため、全員が回覧しやすい場所に設置を検討しています。 |